

2023年度 北海道 NPO サポートセンター 活動計画

1. 北海道の NPO 戦略づくりプロジェクトについて

「北海道の NPO 戦略」づくりを引き続き進めていく予定です。

①スケジュール

「ワーキンググループ (WG)」で検討を重ね、オープンな議論の場として“Nフェス”を実施。その後、一定程度まとめたものを「検討委員会」「パブリックコメント」で議論し、その後さらに「ワーキンググループ」で議論したうえで、**次年度第 25 回北海道 NPO サポートセンター総会にて公開予定**です。

	事柄
2023年6月	
7月	
8月	
9月	
10月	28日、29日 Nフェス実施
11月	
12月	検討委員会
2024年1月	
2月	パブリックコメント
3月	
4月	
5月	
6月	公開@総会

WGにて常に議論を進めていきます

- ・ワーキンググループ (WG) : 「北海道の NPO 戦略」づくりを検討する
- ・検討委員会 : 「北海道の NPO 戦略」(案)を第三者的な視点から検討する場 (1回以上開催予定)
- ・パブリックコメント : 広く道内に NPO 向けに意見等を求める (オンラインを予定)
- ・Nフェス : 下記②参照

②“Nフェス”の実施について

今までの NPO の役割やイメージにとらわれず、未来に向けてこれからの北海道の NPO や市民活動・非営利活動について話したいという思い、NPO 関係者同士が繋がりあい、今後の北海道の NPO の未来を作り上げるための対話の場として、下記の通り、実施予定です。

日にち : 2023年10月28日(土)、29日(日)

場所 : 北海学園大学豊平キャンパス 8号館 ※一部オンライン配信あり

参加費 : 無料 (個人、企業から協賛を集める予定)

対象者 : 北海道の NPO 法人、NPO に興味のある人たち (学生含む)、市民活動に興味のある人たち

2. 各事業の計画一覧

■思いを形にする・支える

No	事業名		事業内容／2023 年度計画
	メイン項目	サブ項目	
1	NPO 等設立・相談事業		引き続き立ち上げに関する相談対応を行います。
2	NPO バック オフィス支 援事業	1) 会計サポート	・引き続き、道内 NPO 等の会計サポートの実施 ・HP 等でわかりやすいサポートメニューと料金表を提示し、さらなるサポート先開拓に努める。
		2) 事務受託事業	・引き続き、事務局サポートを実施 ・サポートメニューの幅を広げ、さらなるサポート先開拓に努める。
		3) その他	・引き続き、他機関との連携などサポート事業を実施していく
3	運営サポー ト事業	1) 事業評価・組織評 価	・引き続き北海道 NPO ファンドの助成事業等の一環として実施 ・評価に関する研修等を開催するなど、北海道内に事業評価・組織評価の意義、方法、成果などを広げる。
		2) 共同事務所運営事 業	・入居団体との意見交換などを行い、よりよい環境づくりに努める。 ・活用方法を再検討するなどにより、入居団体増に努める。
		3) 新型コロナウイルス 感染症対策活動団体 支援協議会	・昨年度までの業務に加えてさぼーとほっと基金見直しについても業務の範囲となる予定であり、行政との協働を進める。
4	人材育成事 業	テーマ別研修会	①会計講座・・・毎月 1 回程度実施 ②その他講座・・・検討中
		中間支援センター交 流・研修会	道内各地の中間支援センターとの交流・研修会を年 1 回実施

■思いを醸成する

No	事業名		事業内容／2023 年度計画
	メイン項目	サブ項目	
1	市民向け講座・講演会		NPO・市民活動等に関する市民向けの講座・講演会を開催
2	調査・研究・提言事業	1) 調査研究事業	道内 NPO 法人の決算状況調査を実施
		2) 政策提言	NPO 等へのコロナの影響をふまえ、道・市への要望等を実施
3	外部委員会出席等		引き続き、他団体主催会議への出席、その他、助成審査や講師活動などを実施
4	他機関連携	1) 金融機関との連携	北海道労働金庫と 2022 年度締結した連携協定に基づき、“ろうきん寄付講座”「NPO 経営者育成講座」を実施
		2) 専門家との連携	引き続き、札幌弁護士会と定例会合を実施 連携協定の締結、及び弁護士&NPO との交流企画を実施予定
		3) 他分野の中間支援との連携	引き続き、(公財)はまなす財団、(公財)環境財団と「北海道コレクティブ・インパクト研究会」を共同で実施。休眠預金等活用助成への申請を検討
5	休眠預金等活用事業	北海道NPOファンドが資金分配団体として実施。	<p>■2020 年度休眠預金事業（一般枠）の運営に引き続き参画 「事業名：子ども若者を主体の持続可能な地域づくり～もう一度、地元のできることを探そう」</p> <p>■2021 年度休眠預金事業（一般枠）の運営に引き続き参画 「地方における学習・能力向上機会の拡充による選択格差の解消～小中を通じた「なりたい自分」の選択視野を広げる地域教育」</p> <p>■2022 年度休眠預金事業(一般枠)の運営に参画 「社会的居場所を核とした働き方と暮らし方の共生の実現～地域コミュニティにおける障がいのある LGBTQ の受容を目指して」</p>
			■2023 年度申請を計画中
6	地域共生社会の実現	生活支援コーディネーター養成研修事業	下記の内容を中心に生活支援コーディネーターの活動支援を行う。 ・基礎研修を札幌で2日間実施 ・応用研修を全道12か所度実施。
		アクティブシニア等活躍支援事業	下記の内容を中心にアクティブシニアの活躍支援を行う。 ・全道12か所にアクティブシニア活躍支援コーディネーターの配置 ・アクティブシニア活躍支援セミナーを全道12か所程度で実施 ・生活支援担い手養成講座を全道12か所程度で実施

7	災害支援	道内避難者心のケア事業	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者への情報誌の発送 年4回 ・電話相談窓口の設置 ・避難者へアイデアを募集し、交流会や相談会の開催
		北の国災害サポートチーム	引き続き、幹事団体として参加。全道フォーラム開催など。

■思いをつなげる

No	事業名		事業内容／2023 年度計画
	メイン項目	サブ項目	
1	情報発信事業		●2022 年度リニューアルした HP の充実
2	市民と NPO をつなぐ事業	1) NPO の学校プロジェクト	●検討中
		2) 有料職業紹介事業	●求人・就職促進のための有料職業紹介事業 ・事業の見直し／仕切り直しを検討
		3) 大学連携プロジェクト	●検討中

3. その他活動・事業について

(1) 会員数

目標：団体会員 200 団体、個人会員 100 人を目標 実績：2023.3.31 時点 173 団体、個人 54 名

(2) 小林董信氏基金第 2 期へ向けた寄付募集

第 1 期には 1000 万円を越えるご寄付をいただき、3 年に渡る助成計画により助成することが決まりました。この助成を継続するための寄付集めを、有志のみなさまとともに行っていきます。第 1 期採択者の紹介記事を含む、寄付募集パンフレットを作成。昨年度寄付者のみなさまにお礼を兼ねてご挨拶まわりをして、継続寄付をお願いする一方、広く寄付を募ります。